

平成26年度 事業報告書

1 宇宙及び科学に関する知識の普及啓発

(1) 「だいち2」普及啓発事業

ホンモノ体験プログラム「YAC宇宙レポートin種子島」として、陸域観測技術衛星2号「だいち2号」(ALOS-2)の種子島での打ち上げ見学をYAC団員、家族団員、一般を含む総勢20名で実施しました。1日目は三菱電機(株)の技術者による「ALOS-2」勉強会を行い、2日目にロケット打上げを長谷公園で見学しました。

日 程：平成26年5月23日(金)～24日(土) 1泊2日

主 催：公益財団法人日本宇宙少年団

協 力：三菱電機(株) (記念クリアファイル、ステッカー)

募 集：Web申込による先着順

旅行手配：(株)アンファンス

参加費：① 羽田空港発着

(YAC団員) 93,000円、(一般) 99,000円

② 鹿児島空港参加・解散

(YAC団員) 59,000円、(一般) 65,000円

行 程：

	日付	主な内容	宿泊
1日目	5月23日(金)	鹿児島空港集合==ホテル着・夕食==ALOS2勉強会	鹿児島
2日目	24日(土)	ホテル出発==鹿児島南埠頭発(高速船)==西之表港着==昼食・長谷公園打上見学==西之表港発==鹿児島南埠頭(解散)移動==鹿児島空港(解散)	—

(2) 「ひまわり8号」普及啓発事業

【第1弾：事前学習イベント】

「ひまわり8号」の打上げをきっかけに、子どもの気象に対する興味・関心を喚起させ、「ひまわり8号」の新たな機能や日々の暮らしに欠かせない気象衛星の役割について理解を深めることを目的に、『気象衛星「ひまわり」・なんでも・調査隊』～気象衛星「ひまわり8号」のひみつを探る！～イベントを行いました。

日 時：平成26年8月23日(土) 13:00～16:30

主 催：公益財団法人日本宇宙少年団

共 催：三菱電機(株)

後 援：気象庁、地球ウォッチャーズ「気象友の会」

会 場：三菱電機本社 4階 会議室

対 象：小学生～高校生の親子

人 数：50組 100名

参加費：無料

協力：三菱電機(株) (参加者記念品、クイズ上位者へ衛星模型の提供)

プログラム：

- ① 気象庁観測部気象衛星課職員による気象衛星「ひまわり」の誕生・歴史、気象庁の仕事やひまわりの気象観測データを利用した天気予報についてのお話をいただきました。
- ② 三菱電機(株)鎌倉製作所ひまわり8号・9号プロジェクトマネージャによる「ひまわり8号」の多機能について観測機能の強化されたポイントやこれまでの違い等を解説いただきました。
- ③ 気象庁総務部総務課広報室の職員によるお天気〇×クイズを行い気象と防災について知識を深めました。
- ④ YAC職員による赤外線サーモグラフィを使った実験とナブロックで台風の模型(雨量を色別で表現)作りの工作を行いました。
- ⑤ 的川泰宣先生による講演「地球とともに生きる～この国とこの星と私たち～」と題し、宇宙開発に携わる研究者の冒険心・好奇心・匠の心はそれぞれ異なり、様々な色が組み合わさって一つのプロジェクトを成し遂げる等のお話をいただきました。

【第2弾：「ひまわり8号」打上げレポート】

「ひまわり8号」が搭載されたH-IIAロケット25号機の打上げについて、3名の「ひまわり記者」が種子島で取材しました。取材にあたり、西之表市広報職員に協力いただき、取材する際のカメラの持ち方やインタビューする時の心得等レクチャーを受け、長谷公園で見学者へのインタビュー及び打上げ見学をしました。

実際の打上げを見た感想やインタビュー記事を宇宙新聞に取りまとめ、WebサイトやJAXA・YAC「宇宙のとびら」で活動の紹介と情報発信を行いました。

日程：平成26年10月6日(月)～7日(火) 1泊2日

場所：種子島

主催：公益財団法人日本宇宙少年団

共催：三菱電機(株)

協力：種子島西之表市役所広報課 (取材の心得をレクチャー)

三菱電機(株) (記念ステッカー等)

フジテレビ (めざましテレビグッズ)

メディア：フジテレビ「めざましテレビ」の同行取材を受けひまわり記者の紹介

募集：Web申込による (YAC団員及び一般)

参加者：3名 小5 (男子1、女子2)

12名応募の中から参加意気込みにより3名選考と引率2名、計5名で実施

参加費：無料

行程：

	日付	主な内容	宿泊
1日目	5月23日(金)	羽田空港、鹿児島市内ホテル集合	鹿児島
2日目	24日(土)	ホテル出発==鹿児島南埠頭発(高速船)==西之表港着==長谷公園打上見学、昼食==西之表港発==鹿児島南埠頭(解散)移動==鹿児島空港(解散)==羽田空港(解散)	—

【第3弾：気象庁見学及び専門家による「ひまわり8号」の講義】

「筑波スペースキャンプ2015春」の2日目プログラムに「気象衛星「ひまわり」なんでも調査隊」第3弾として気象庁見学と気象庁職員特別講義、そして三菱電機(株)鎌倉製作所ひまわり8号サブプロジェクトマネージャを講師に招き気象衛星「ひまわり8号」の製造から打上げ、これからの観測について広く分かり易くお話をいただき、最後に質疑応答を行いました。

日 程：平成27年3月27日(金) ※筑波スペースキャンプ2日目
会 場：気象庁（見学及び職員による講義）
ちよだプラットフォームスクエア4F 会議室（三菱電機職員による講義）
主 催：公益財団法人日本宇宙少年団
共 催：三菱電機(株)
協 力：三菱電機(株)（記念クリアファイル、ステッカー）
募 集：Web申込による（YAC団員及び一般）
参 加 者：筑波スペースキャンプ参加者 15名
当日日帰り親子参加者 12名
随行職員 3名
参 加 費：1人1,500円（昼食付）

(3)「はやぶさ2」普及啓発事業

ホンモノ体験プログラム「YAC宇宙レポートin種子島」として、「はやぶさ2」の打ち上げ見学を予定していましたが、種子島到着直後に延期を知り、島内プログラムを変更して実施しました。1日目は宇宙科学技術館の見学と夜には横断幕にメッセージの寄せ書きや「はやぶさ2」勉強会として、当財団役職員と電話を繋ぎ、はやぶさ2のミッションやロケット打上げ延期理由など多くの質疑応答をしました。2日目には南種子島町役場で町長表敬訪問、島内見学、JAXA増田宇宙通信所を見学し、夜には福島分団・分団長によるはやぶさパラシュートについて縮尺模型を使い、どのような仕組や構造になっているかを実際に触れて勉強しました。また、松本理事長と電話を繋ぎ、子ども達の宇宙への夢や希望について質疑応答しました。

「はやぶさ2」打上げは見られませんでした。種子島で過ごした2泊3日の様子を「宇宙新聞」にまとめ、Webページに掲載したり、各自分団活動の中で発表するなど、宇宙レポーターとして情報を発信しました。

日 程：平成26年12月1日(月)～3日(水) 2泊3日
主 催：公益財団法人日本宇宙少年団
協 力：日本電気（はやぶさ2記念クリアファイル）
三菱重工業（ロケットクリアファイル）
募 集：Web申込による
※当初参加者29名より希望者を募り18名（団員14名、リーダー2名、引率2名）
で実施
旅行手配：(株)アンファンス
参 加 費：① 羽田空港発着
募集時（YAC団員）93,000円、（一般）99,000円

再設定 (YAC 団員) 129,468 円 ※参加人数が減ったため

② 鹿児島空港参加・解散

募集時 (YAC 団員) 59,000 円、(一般) 65,000 円

再設定 (YAC 団員) 83,038 円 ※参加人数が減ったため

行 程：

	日付	主な内容	宿泊
1日目	12月1日(月)	羽田空港、鹿児島南埠頭集合==鹿児島南埠頭発(高速船)==西之表港着==科学技術館見学==ホテル着、夕食、稲田専務理事とロケットやはやぶさ2に関する電話Q&A	種子島
2日目	2日(火)	ホテル発==島内見学、増田通信所見学==ホテル戻り 夕食後に松本理事長と電話Q&A、福島分団大野分団長によるパラシュートの講義	種子島
3日目	3日(水)	ホテル出発==門倉岬==西之表港着、昼食==西之表港発(高速船)==鹿児島南埠頭着(解散) 移動==鹿児島空港==羽田空港(解散)	—

(4) YAC ウェブページによる情報提供等

(公財) YAC ホームページの運営および YAC コミュニティサイトの運営では、青少年を対象に宇宙及び科学に関する知識の普及啓発の促進、そしてインターネットを利用した宇宙教育活動の推進を目的にウェブページの運営を行い、分団活動や財団事業等の情報を発信しました。

2 青少年の連携及び交流の促進事業

(1) 分団等との連携協力

JAXA 宇宙教育センター協力の下、平成 26 年度は以下の分団結成の支援を行いました。

- ① 平成 26 年 4 月 27 日(日) ノシロ分団 (秋田県)
- ② 平成 26 年 6 月 1 日(日) 大分テクノ分団 (大分県)
- ③ 平成 26 年 6 月 22 日(日) 川上分団 (長野県)
- ④ 平成 26 年 7 月 13 日(日) 小松分団 (石川県)
- ⑤ 平成 26 年 11 月 30 日(日) あいちなごや分団 (愛知県)

その他定常的に新規分団結成の問合せや分団からの課題の相談に応じてアドバイスを行いました。

(2) 連携団体活動推進

【活動委員会の開催】

JAXA 宇宙教育センター協力の下、YAC 分団等の活動の推進を目的に次のとおり活動委員会を実施し、特定費用準備資金を使った「2020 年宇宙の旅」事業について事業計画案の作成を行いました。

- ① 平成 26 年 5 月 18 日(日) 場所：ちよだプラットフォームスクエア会議室
- ② 平成 26 年 10 月 11 日(土)、12 日(日) 場所：JAXA 東京事務所会議室
- ③ 平成 26 年 11 月 22 日(土)、23 日(日) 場所：JAXA 東京事務所会議室

【「2020年宇宙の旅」事業】※特定費用準備資金

活動委員会より、YACは同じ目標に向かって成長する全国組織を目指すべきであり、その目標を達成させるために活動委員会が全体活動プログラム（共通プログラム）を理事会に提案し、2020年までの7年間に亘って次のことを目的に特定費用準備資金計画を変更し、2014年（平成26年度）より実施することになりました。

- ① 全国の分団が取り組むことができる全体活動プログラムを行い、全国大会にその成果を持ち寄って交流を行い、ともにレベルアップを図る。
- ② 全体活動プログラム“もし私が宇宙へ行けたらやってみたいこと”（小学生対象）、“もしも私が宇宙に行って仕事をするなら”（小中高校生対象）を発展させて「2020年宇宙の旅」を進めていく。

【1年目：2014年（平成26年度）YAC指導員対象】

日 時：平成26年11月22日、23日

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：YAC指導員（リーダー）

テーマ：宇宙での生活 その1（宇宙環境の理解）

内 容：真空・放射線・無重力・人工衛星・通信・熱・温度・物質・等々

主なプログラム：

- ① 衛星データ活用プログラム「衛星データを身近に～だいち2号に写ろう～」
- ② 基調講演「2020年宇宙の旅～宇宙での生活～」 山方健士氏
- ③ 今後の展開とスローガン発表
- ④ YAC全国ワークショップ2015開催予定分団の決定（石川県金沢市）
- ⑤ ポスターセッション
- ⑥ 各分団で実施していただく際の活動の進めかたについて（活動手引書の説明）
「2020年宇宙の旅」活動事例紹介
- ⑦ 懇親会

（3）宇宙教育指導者セミナー

社会教育団体活動の指導者育成を目的とするセミナーを、JAXA宇宙教育センターと（公財）日本宇宙少年団が主催となり、開催地域と連携協力しながら、以下の地域で開催しました。

- ① 能代会場（秋田県能代市）

日 時：平成26年6月21日（土）9：45～16：50

場 所：能代市総合体育館 研修室

- ② 東京会場（東京都江東区）

日 時：平成26年8月24日（日）10：15～17：00

場 所：東京都現代美術館 B1 講堂

- ③ 大阪会場（大阪市浪速区）

日 時：平成26年9月21日（日）9：30～16：30

場 所：大阪府立大学 i-site なんば C3 講義室

- ④ 高松会場（香川県高松市）
 日 時：平成 26 年 12 月 14 日（日） 9:45～16:45
 場 所：香川県青年センター大会議室
- ⑤ 鹿児島会場（鹿児島県鹿児島市）
 日 時：平成 27 年 1 月 31 日（土） 9:45～17:00
 場 所：鹿児島市立科学館 企画展示室
- ⑥ 名護会場（沖縄県名護市）
 日 時：平成 27 年 2 月 22 日（日） 9:45～17:00
 場 所：名護青少年の家
- ⑦ 相模原会場（神奈川県相模原市）
 日 時：平成 27 年 3 月 1 日（日） 9:45～17:00
 場 所：JAXA 相模原キャンパス 大会議室

3 宇宙及び科学に関する青少年の人材育成事業

(1) 種子島スペースキャンプ

子ども達の夏休みを利用し、ロケット打上げ射場のある J A X A 種子島宇宙センターや科学館の見学、ウミガメ学習やマングローブでのカヤック体験等、種子島の自然や歴史に触れる体験学習を行いました。また、種子島の子ども達にも参加してもらい全国から集まった友達と交流を深めました。

時 期： 平成 26 年 7 月 27 日（金）～31 日（火） 4 泊 5 日
 場 所： 種子島全域（西之表市、中種子町、南種子町、種子島宇宙センター他）
 対 象： 小学 4 年～中学 3 年生 60 名
 （「YAC 団員・一般」30 名／「島内」10 名／「協賛企業枠」20 名）
 スタッフ：指導員（リーダー）、運営スタッフ、看護師、協賛企業担当者など約 20 名
 参加費： 39,000 円（YAC 団員）／46,000 円（一般）／8,000 円（島内）
 行 程：

	日付	主な内容	宿泊
1 日目	7 月 27 日（金）	西之表港又は種子島空港に集合⇒自然の家着後、結団式 （夜）ウェルカムパーティー	種子島 （自然の家）
2 日目	28 日（土）	南種子町企画（シーカヤック・メヒルギ群生・海水浴・ 千座の岩屋）中種子町企画（ウミガメ教室） （夜）手作り調理	〃
3 日目	29 日（日）	水ロケット工作 西之表市企画（ビーチコーミング） （夜）星空観察	〃
4 日目	30 日（月）	宇宙科学技術館見学／JAXA 種子島宇宙センター見学 水ロケットの打上げ （夜）体験発表	〃

5 日目	31 日(火)	解団式 西之表港／種子島空港 解散	-
------	---------	----------------------	---

(2) 筑波スペースキャンプ (銀河教室 in つくば)

毎年子ども達の夏休みに合わせ、毎日小学生新聞との共催事業で実施しており、今年
は「コミュニケーション能力を身につける」、「ITに触れる」、「宇宙開発の現場でホン
モノ体験をする」の3つをテーマに実施しました。初日、Appleストア銀座で携帯情報
端末(ipad)の操作を身につけ、端末を活用した実験や施設見学等で調べたことや体験し
たことを映像に記録していきました。サーモグラフィーを使った実験ではモノやヒトの
表面温度を計測し、サーモグラフィーでみる温度変化を楽しみました。

JAXA筑波宇宙センターでは施設見学や毎小新聞「銀河教室」連載の的川泰宣先生、新
日鉄住金職員による特別講義を受け、宇宙飛行士訓練施設で模擬訓練体験を行い、初め
て出会う仲間と楽しく学びながらコミュニケーション能力等を学びました。

最終日にAppleストア銀座に戻り、グループ毎に約5分間に編集した体験映像を見な
がら保護者や一般の前で発表し合い、参加者全員が感想を述べました。

日 程：平成26年8月4日(月)～6日(水) 2泊3日

場 所：Appleストア銀座、千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス、JAXA 筑波宇宙センター、
つくばエキスポセンター

主 催：公益財団法人日本宇宙少年団、毎日小学生新聞

協 賛：新日鉄住金

協 力：日本アビオニクス(株)、JAXA筑波宇宙センター、エイ・イー・エス

旅行手配：毎日新聞旅行

メディア：毎日小学生新聞、マイナビ、週刊アスキー

募 集：YAC・Web申込(YAC団員及び一般)、毎日小学生新聞掲載

対 象：小学4年生～中学生のYAC団員及び一般

人 数：小学4年生～中学2年生の男女40名

(栃木県、富山県、愛知県、茨城県、岐阜県、宮城県、熊本県、群馬県、
埼玉県、神奈川県、静岡県、千葉県、大阪府、長野県、東京都、徳島県、
奈良県、福岡県、兵庫県、北海道、和歌山県 より参加)

YAC指導員4名

随行者 5名

参加費：45,000円

協 力：Appleストア銀座(記念Tシャツ、活動写真・動画データUSB)

行 程：

	日付	主な内容	宿泊
1 日目	8月4日(月)	羽田集合、東京駅新丸ビル前(集合) == Appleストア銀座 ipad 講座 == スカイツリータウン(千葉工業大学ホット等見学、ipadを使い加速度の実験、 サーモショット温度観測など) ==筑波へ移動==ホテル着	筑波
2 日目	5日(火)	ホテル発==筑波宇宙センター、的川泰宣先生講義==つくばエキスポセンター見学== 筑波宇宙センター展示館見学、新日鉄住金職員による講義、宇宙飛行士模 擬訓練体験==ホテル着、ipadまとめ	〃
3 日目	6日(水)	ホテル発==Appleストア銀座着、シアタールームで保護者及び一般に向け体験発表、 毎小編集長より修了証授与後(解散) ==羽田移動==羽田(解散)	

(3) ミッションX・ベルギー（国際交流事業）

NASA（米国航空宇宙局）、ESA（欧州宇宙機関）、JAXA 及び科学者の宇宙飛行士トレーニングを研究している専門家たちが協力し合い、宇宙飛行士の健康管理をモチーフとして児童の健康啓発につなげるために開発された教育プログラム「ミッションX」国際イベントに、当財団より日本代表児童を募集し派遣する予定でしたが、日本代表枠は5名までと狭く参加費が高騰したため実施を断念しました。

(4) APRSAF日本（国際交流事業）

APRSAF-21 水ロケット大会(AWRE)が日本で開催されることから、この大会を活用してアジア各国の参加者と日本人の子ども達の国際交流を実施する計画をしていましたが、国際交流を行う時間が取れないことから実施を断念しました。

(5) 衛星データ利用体験学習

① 全国の小中学生・高校生に、人工衛星のデータを利用し自ら課題を見つけ調査・分析に取り組む機会を提供し、宇宙を身近に感じるとともに地球・生命の大切さや宇宙開発の意義などを学んでもらうことを目的に「第4回衛星データ利用コンテスト」を実施しました。専用webサイトでは過去に取り組んだ成果や実際に衛星データを使用する体験ツールを公開、提供しています。

主 催：公益財団法人日本宇宙少年団

後 援：宇宙航空研究開発機構

サンプルデータ等協力：株式会社パスコ・地球観測研究センター（EORC）

専用 web サイト：<http://eisei-data.jp/>

コンテスト期間：平成26年7月20日(日)～平成27年1月31日(土)

応募資格：小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒のグループ及び個人

表彰：個人の部：小学校4年生以上6年生以下、中学生、高校生

グループの部：小学校4年生以上6年生以下、中学生、高校生

大人の部：YAC指導員、一般

表彰：

(1) 最優秀賞：各部門1グループまたは1名、計4点

(2) 優秀賞：各部門1グループまたは1名、計4点

(3) 審査員特別賞：部門によらず、数グループまたは数名

② JAXA研究公募(RA-4)：公募型共同研究「ALOS-2データ利用」

テーマ：衛星データの能動的処理を活用した教育方法の開発

平成25年5月、JAXA共同研究の承諾を受け、全国のYAC団員及び一般の子どもを対象にYAC分団共通プログラム「だいち2に写ろう！」を企画し、今年は17分団、約2000人が参加して「コーナー反射鏡（手作りリフレクター）を製作し、「だいち2に写ろう！」を実施しました。また、ALOS-2が災害時の状況把握、地図更新の国土管理、海洋、森林監視など多岐に亘りミッションを担っていることを学習し、地球の大切さを学びました。「だいち2に写ろう！」の実施結果は日本宇宙少年団ホームページの分団活動報告や各分団のホームページに掲載されています。

(6) 宇宙情報誌「宇宙（ソラ）のとびら」の発行・編集協力等

宇宙に関わる様々な分野の方の活動や宇宙への思い、宇宙及び科学に関する最新のニュースや新しい科学の発見などを誌面で紹介し、子どもたちの持つ冒険心・匠の心・科学する心を育むことを目的として、宇宙情報誌の編集協力等を行い、YAC団員及びYAC関係者へ発送しました。

【発行】

- 6月：No.028「宇宙から地球を精密検査「だいち2号打上げ」2014年6月30日発行
- 9月：No.029「宇宙に触れた夏」2014年9月30日発行
- 12月：No.030「新たな深宇宙の航海へ!「はやぶさ2」打上げ 2014年12月26日発行
- 3月：No.031「油井宇宙飛行士がISS長期滞在」2015年3月31日発行

(7) 宇宙教育テレビ

宇宙関連トピックや宇宙教育イベントに合わせ、放送番組の内容をJAXA宇宙教育センターと一緒に計画し、その情報をインターネット番組で以下の日程で放送・配信しました。

【第124回】

- ・平成26年4月25日(金) 18:00~18:45

【第125回】「科学技術週間」 JAXA イベント突撃レポート特集

- ・平成26年5月30日(金) 18:00~18:45

【第126回】だいち2号 H-IIA ロケット打ち上げレポート

- ・平成26年7月26日(土) 13:00~13:50

【第127回】相模原キャンパス特別公開ライブ放送

(8) 伊豆大島スペースキャンプ

伊豆大島では主に大学生によるハイブリッドロケットの共同打上げ実験が行われており、高校生になるとロケットガール&ボーイ養成講座に参加して本格的なロケット作りを学ぶことができます。

今回のYAC伊豆大島スペースキャンプでは、次世代のロケットガール&ボーイとしてロケットに興味のある中学生を募集し、伊豆大島での共同打上げ実験を見学、本格的なロケット作りの初級となるモデルロケットの講習を受けた後、第4級ライセンス取得に挑戦しました。そして実地テストの結果、参加者全員がテストに合格し第4級ライセンスを取得しました。

時期：平成27年3月20日(金)~22日(日) 2泊3日 ※1泊は船中泊

主催：公益財団法人日本宇宙少年団

協力：伊豆大島観光協会（宿泊一部補助）

協力：ロケットガール&ボーイ養成講座2014（主催者）

募集：YAC・Web申込（YAC団員及び一般）

旅行手配：㈱アンファンス

場所：伊豆大島実験フィールド

対象：中学生6名

参加費：45,000円

行 程：

	日付	主な内容	宿泊
1日目	3月20日(金)	集合(東京・竹芝客船ターミナル)、乗船	船中泊
2日目	21日(土)	大島着、オリエンテーション、伊豆大島観光(火山博物館など) ロケットガール&ボーイ養成講座 見学・交流 モデルロケット4級ライセンス講習会	伊豆大島
3日目	22日(日)	モデルロケット打ち上げ ロケットガール&ボーイ養成講座 見学・交流 14:30 大島 発==横浜港経由==19:45 東京 着 解散(横浜港、東京・竹芝客船ターミナル)	—

4 その他の事業

(1) 講師派遣等

青少年や一般を対象に宇宙及び科学に関する知識の普及啓発、宇宙教育の促進を目的に、その他事業として、以下の事業及びイベント等に講師派遣を行いました。

① 東京おもちゃショー2014ブース出展

東京ビックサイトで開催された「東京おもちゃショー2014」の来場者は2日間で141,175名が訪れました。(公財)日本宇宙少年団ブースでは、特にブルースーツ(宇宙飛行士訓練服レプリカ)を約500名の親子連れに試着体験してもらいました。2011年以来の出展となった今回は、協賛企業の皆様によりブース出展費用を支援いただき、前回よりもブース区画を拡大してブルースーツ試着コーナーを設けるなど充実した出展内容にすることができました。

日 時：平成26年6月14日(土)～15日(日)

場 所：東京ビックサイト西1～4ホール

出展内容：

- ・(公財)日本宇宙少年団活動の広報活動
- ・ブルースーツ(宇宙飛行士訓練服レプリカ)の試着体験
- ・入団案内の配布
- ・財団寄付金活動

協 賛：(株)トキワ、(株)スペースシフト、(株)学研教育出版

② サイエンスヒルズこまつ 講演会

日 時：平成26年7月13日(日) 14:00～16:00

場 所：サイエンスヒルズこまつ 3Dスタジオ

内 容：松本零士氏(YAC理事長)基調講演会

協 賛：石川県小松市

③ 「宇宙×芸術」展

a) きみの描く宇宙が未来をつくる ワークショップ

日 時：平成26年8月8日(金) 14:00～16:00

場 所：東京都現代美術館 講堂 (B2F)
主 催：公益財団法人日本宇宙少年団
共 催：公益法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
内 容：松本零士スペシャルナビゲーターと一緒に、未来の宇宙を想像して絵を描く
創作活動。
人 数：先着 100 名 ※小さいお子様は保護者同伴
参加費：無料

b) 宇宙芸術の聖地・種子島～芸術による文化・地域振興の可能性～

開催日：平成 26 年 8 月 22 日 (金)
主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
共 催：beyond [space + art + design] 、種子島宇宙芸術祭推進協議会
会 場：東京都現代美術館 講堂 (B2F)
企画協力：公益財団法人日本宇宙少年団、J A X A
協 賛：森永製菓
定 員：100 名
申 込：当日先着順
参加費：無料
主な対象：一般
講 師：森脇裕之 (多摩美術大学)、河口洋一郎 (東京大学)、
来賓挨拶：南種子町長、JAXA 役員
パネル討論 (講演各 15 分、討論 20 分) ※モデレーター森脇先生
◆応援メッセージ 松本零士氏 (初代トンミー大使) 山崎直子氏 (宇宙飛行士)

④ イベント「横浜で宇宙を体験しよう」への講師派遣

夏休み企画、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにおいてイベント『横浜で宇宙を体感しよう！プラネタリウム×宇宙食&空気ロケット』が催され、当財団より講師派遣を行い、「宇宙飛行士と宇宙食」「ロケットと人工衛星」の講座を行いました。

開催日：平成 26 年 8 月 14 日 (木) ～16 日 (土)
主 催：エコマイルプラネタリウム(株)、相鉄ホールディングス(株)
協 力：JAXA 宇宙教育センター(展示に宇宙食用注湯器を借用)
対 象：一般の親子
場 所：横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ 5F 階宴会場707
参加費：無料
講 座：(1)「宇宙飛行士と宇宙食」の講座 (30 分) ×3 回/日
(2)「ロケットと人工衛星」の講座 (30 分) ×3 回/日 計 6 回/日×3 日間

⑤ 綾瀬青年会議所 35 周年記念「水ロケット教室」への講師派遣

綾瀬青年会議所創立 35 周年記念として、親子で水ロケットを打ち上げる楽しさを体験してもらうことを目的に記念事業の一環として第 1 部「親子で水ロケット教室」を開催し、当財団より講師派遣を行いました。

開催日：平成 26 年 10 月 19 日 (日)
主 催：綾瀬青年会議所

後援：(公財)日本宇宙少年団、JAXA宇宙教育センター
第1部：12:30～14:45 親子で水ロケット教室
対象：子ども100名(小学生～中学生)
場所：綾瀬市立綾西小学校 体育館及び校庭
参加費：無料

⑥ IBM社会貢献事業(2014コミュニティー・グランツ・プログラム)

IBMグランツ・プログラムはIBMの関心のある分野の特定のプロジェクトやプログラムに対して、社員の社会貢献活動を支援するために資金援助が行われるものです。今年度は、当財団連携団体の日本宇宙少年団未来MM分団(東京)指導員でIBM社員の活動に支援することが承認され、以下のとおり実施しました。

日時：平成27年1月11日(日)10:00-12:00

場所：日本アイ・ビー・エム株式会社 本社

参加人数：団員：38名、体験入団者：1名、指導員：7名、
保護者・その他：34名

タイトル：「ヨットカーを走らせよう」(幼稚園年長～小学校2年生)

目的：理科で習う授業や身の回りの現象がどのような技術や製品に活用されているかを身近な材料による実験を通じて学び、ものづくりの楽しさや科学への興味を喚起する。

実施結果：ヨットが進む仕組みについて工作・実験をしながら学びました。

扇風機で風を送り、風の向きを変えてもヨットがコースを真っ直ぐ進めるかどうかを試しました。帆の向きを調節することで、横からや斜めからの風でもヨットは前に進めることを理解し、それぞれ好きな形・大きさの帆を作り、速さを競ったり、慣れてきた人は、斜め前から風が吹いている難関コースに挑戦しました。難しいコースもみんな試行錯誤しながら上手に走らせることができました。

タイトル：「ウィンド・パワー～風力発電と技術者の仕事」(小学校3年生以上)

目的：実際の製品に使われている技術について学ぶと共に、技術者の仕事に興味・関を持つ。

実施結果：IBMの技術と宇宙開発の関係について簡単な紹介の後、現在の日本の発電方法と環境に与える影響について学びました。日本発電は、震災以前は原子力も多く使われており、現在は火力発電に頼っている、新エネルギーは注目されているものの現在はまだ非常に利用割合は低いことを学びました。次に、風力発電のしくみと意義と課題について、風力発電の製作を通して考える実験を行いました。「エンジニアになってみよう」ということで、作った羽に風を当て、発電機を回して電圧を図り、羽の形や大きさ・枚数や傾きで発電機の性能が変わることを体感しました。

⑦ 東京都八王子市小宮小学校PTA行事「宇宙教室」への講師派遣

東京都八王子市小宮小学校PTA行事で開催された『宇宙教室』に当財団より講師派遣を行い、全体企画のアドバイスや水ロケット打上げデモンストレーション用の

機体製作及び打上げデモンストレーションを行いました。

開催日：平成26年12月6日（土）

主催：小宮込小学校PTA

対象：在校生、一般（子ども）

場所：体育館

参加費：無料

⑧ 「土井武夫展」松本理事長特別講演

かかみがはら航空宇宙科学博物館と川崎重工業株式会社との共催により「航空機設計者・土井武夫 生誕110周年記念企画展（12月7日（日）～2月8日（日））」が開催されました。この期間中に、次代の航空宇宙産業を担う県内の小中学生をはじめとする若年層等の理解増進、就業意欲醸成を図るため、「航空宇宙の扉を開け！」と題したイベントが行われ、その一環として2月1日（日）に当財団松本理事長の特別講演会が催されました。

日時：平成27年2月1日（日） 14:00～15:00

会場：かかみがはら航空宇宙科学博物館 1階 ウェルカムルーム

参加者：航空宇宙産業関係者、一般、学生 等 約100名

応募：事前申込

参加費：無料

演題：「航空宇宙への夢・技術」

⑨ 「おおた工業フェア2015」松本理事長特別記念講演

「おおた工業フェア～目指せ、宇宙品質～」と題して中小製造業の集積地として知られる大田区ものづくり企業が一同に集めた企画展示「新分野・新技術へのチャレンジ（医療連携と航空宇宙）」が平成27年2月5日（木）～7日（土）に開催され、延べ4,417名の来場がありました。2月7日（土）には当財団松本理事長の特別講演が催されました。

また、同施設の会議室では子どもを対象に午前、午後の2回、バルーンローバー工作のワークショップに当財団より講師派遣を行いました。

【松本理事長講演】

日時：平成27年2月7日（土） 13:00～15:00

会場：大田区産業プラザP I O

参加者：一般 200名

応募：web 申込

参加費：無料

演題：「宇宙開発の夢・技術」

【ワークショップ】

日時：平成27年2月7日（土） ①10:00～12:30 ②13:30～16:00

会場：大田区産業プラザP I O 6階D会議室

参加者：一般（子ども）

応募：web 申込

参加費：無料

講 義：人類は火星を目指す！バルーンローバーを作って動かそう！

⑩ チーズフェスタ2014「チーズと宇宙」講演

チーズ普及協議会ならびに日本輸入チーズ普及協会による「チーズフェスタ 2014」が2014年11月11日（火）～12日（水）に開催され、当財団より講師派遣を行い「宇宙とチーズ」を題材にその意外な関わりを紹介しました。

日 時：平成26年11月12日（水）

会 場：「EBiS 303」

主 催：チーズ普及協議会、日本輸入チーズ普及協会

後 援：農林水産省、厚生労働省

協 力：チーズマスター会、公益財団法人日本ユニセフ協会、全国餅工業協同組合

対 象：一般（入場無料）

⑪ リクルート「宇宙バイト」業務支援

タウンワーク「激レアバイト」キャンペーンの一つに、正式名「激レア宇宙バイト（略称：宇宙バイト）」があり、宇宙飛行士模擬訓練体験および伊豆大島でのモデルロケットを打上げ体験について、当財団より講師派遣を行い、プログラム企画や指導等に当たった。

業 務：宇宙飛行士模擬訓練体験

日 時：平成26年11月12日（水）

会 場：JAXA筑波宇宙センター

AESが実施する宇宙飛行士模擬訓練「閉鎖環境」を貸切で実施。

支援内容：閉鎖環境プログラムの企画、進行台本作成、司令官役として閉鎖環境内にいるバイト生に指示をする役。

業 務：伊豆大島モデルロケット打上げ体験

日 時：平成27年3月21日（土）

会 場：伊豆大島実験フィールド

協 力：ロケットガール&ボーイ養成講座2014（主催者）

支援内容：宇宙バイト生用のモデルロケット打上げ機体製作物用意、打上げ指導。

⑫ 南種子町宇宙科学分団「分団結成30周年記念式典・祝賀会」

南種子町宇宙科学分団（鹿児島県熊毛郡南種子町）の分団結成30周年を記念した式典及び祝賀会が開催され、当財団より講師の派遣をしました。

日 時：平成26年8月30日（土）

会 場：南種子町福祉センター

主 催：日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団

対 象：一般（入場無料）

派遣講師：日本宇宙少年団齋藤紀男相談役、公益財団法人日本宇宙少年団麻生茂理事

⑬ 福島支援日帰りバスツアー

福島県の風評被害を最小限に止めることを目指すNPO青果物健康推進協会は「EAT

FOR NIPPON」として、放射能に対する正しい情報を提供するため、毎年「福島支援バスツアー」を実施しています。

今年はこの活動に子ども達の参加提案を受け、財団より講師派遣とYAC団員を募り参加しました。一人1台の放射能測定器を手に、都内出発から福島市内の各所で計測しながら安全性を確認しました。現地到着までの車中では宇宙クイズやその解説を行い、現地到着後はJA会津みどりの全量全袋検査場見学、新米の試食、稲刈り体験、会津市内の酒蔵見学を行いました。参加した子ども達は、美味しかった新米の味、初めての稲刈り体験や福島県の食の安全性について感想を寄せホームページで紹介しました。

日 時：平成26年10月12日(日) 日帰り

会 場：福島県会津市(JA会津みどり)

協 力：全国農業協同組合連合会福島県本部

企画募集事業：一般財団法人日本原子力文化財団～草の根NPO等活動支援事業～

参加者：YAC団員及び一般の小中学生8名、日本宇宙少年団齋藤相談役、YAC事務局

応 募：先着web申込

参加費：無料

⑭ 六甲分団「六甲分団20周年記念式典・記念講演会」

六甲分団(兵庫県芦屋市)の分団結成20周年を記念した式典及び記念講演会が開催され、当財団より講師の派遣をしました。

日 時：平成26年11月15日(土)

会 場：芦屋市立精道小学校体育館

主 催：日本宇宙少年団六甲分団

対 象：一般(入場無料)

派遣講師：日本宇宙少年団松本理事長

5 会議の開催状況

(1) 理事会

平成26年度に当財団の事業運営に関し理事会を4回、定時評議員会を1回、書面評決決議による評議員会を2回開催しました。

○平成26年度第1回理事会

日 時 平成26年5月22日(木)

決 議 第1号議案 平成25年度事業報告書の承認の件

第2号議案 平成25年度決算報告書の承認の件

第3号議案 分団の承認停止について(連携団体規程の改正)

報 告 平成26年度書面評決評議員会結果の報告

特定費用準備資金を活用する公益事業計画の変更について

その他 ミラノ万博日本館イベント広場企画について

理事の任期満了及び次回理事会について

○平成26年度第2回理事会

日 時 平成26年6月12日（木）

決 議 第1号議案 理事長及び専務理事の互選について

報 告 平成26年度定時評議員会の結果（理事の選任結果）

ミラノ万博日本館イベント広場イベントについて（これまでの状況）

○平成26年度第3回理事会

日 時 平成26年10月29日（水）午後2時00分～午後4時25分

場 所 ちよだプラットフォームスクウェア5階 505会議室

決 議 第1号議案 専務理事の互選について

報 告 理事の就任について

平成26年度上半期事業報告及び収支決算について

特定費用準備資金について

携団体長会議の準備状況について

○平成26年度第4回理事会

日 時 平成27年3月10日（水）午後2時10分～午後4時50分

場 所 ちよだプラットフォームスクウェア5階 501会議室

決 議 第1号議案 特定費用準備資金等取扱規程（案）について

第2号議案 平成27年度事業計画書及び収支予算書について

報 告 平成26年度収支決算見込みについて

（2）評議員会

○平成26年度書面評決評議員会

日 付 平成26年4月30日

決 議 第1号議案 平成26年5月度理事の退任及び選任の件

第2号議案 平成26年5月度評議員の退任及び選任の件

○平成26年度定時評議員会

日 時 平成26年6月5日（木）

決 議 第1号議案 平成25年度事業報告書の承認の件

第2号議案 平成25年度決算報告書の承認の件

第3号議案 理事の任期満了に伴う新理事の選任の件

第4号議案 基本財産の定期預金口座変更の件

報 告 平成26年度臨時評議員会書面評決の報告

平成26年度事業計画書の報告

平成26年度収支予算書の報告

○平成26年度書面評決評議員会

日 付 平成26年8月11日

決 議 第1号議案 理事の選任の件

以 上